

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：こども発達支援 ハートシード

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	改善目標等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	5		法令を遵守し、支援の目と手が行き届くようスペースと人員を考慮しています。利用児数が増え、子ども達も成長し、体が大きくなってきている為、少し手狭なときがある。マンションの一室を使ったり、公園に行くなどして工夫しています。	これまでと同様に、支援の目と手が行き届くようスペースと人員を考慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	5		法令で必要とされる配置数に加えて、専門職員を2名以上配置しています。イベント等では職員数を多めに配置しています。	日々の活動では、利用児数が増えたことにより、送迎、活動担当と、役割分担する必要があり、いろいろな方法を模索しているところです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	5		個々のお子さまが理解し行動しやすい生活空間となるように、活動や片付けの場所や方法などを検討しています。	屋外スペースについても検討し改善していきます。要配慮の必要なお子さまに応じて、バリアフリーを考えていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10			毎日のミーティングや定期的な全体会議などで、職員間で情報を共有し、改善に向けて取り組んでいます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			今後も毎年アンケートを実施し、結果をもとに業務改善に繋げていきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			当ホームページにて公開しています。ご不明な点がございましたら、いつでもお声かけ下さい。また、ご利用者様にはアンケートの集計結果の配布時や面談時に説明するように心掛けています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10			令和3年度までは第三者による外部評価は行っておりません。R4年度に第三者委員会を立ち上げました。	年度内に評価を行い、評価結果を業務改善に繋げていきます。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			年間研修計画に基づき内部・外部研修を積極的に行っています。時間を有効的に活用出来るオンラインの研修等を実施しています。また、職員間で書籍や資料の共有が盛んになるような環境作りを進めています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			相談支援事業所の計画を基にしています。また質問用紙にてニーズや課題をご記入いただき、詳しくお話を伺ったうえで、放課後等デイサービス計画を作成しています。子どもたちの様子を毎月の会議で共有しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1		PDCAサイクルをもとに子ども達の状況に合わせた支援計画をたてています。	標準化されたアセスメントツールを踏まえて、日頃のお子様との関わりを参考にして活動を考えていきたいと思えます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			お子さまの興味・関心が自然とわいてからだ動くようなあそびになるように、個々のお子さまの発達や特性を踏まえた上で、幅広いあそび・多様な楽しみ方ができるような活動構成を担当する職員間で考えています。毎日の会議で話を共有しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	改善目標等
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			月毎にプログラムの内容を検討し、季節感を感じられるようなあそびを取り入れています。またその時々のお子さまの興味・関心も活動に反映させています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10			放課後等デイサービスでは子ども達が考えてプログラムを進めています。長期休みには、余裕のある時間を利用した集団活動を計画したり、職員会議で企画を出し合ってイベントを行うこともあります。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			子どもの状況に応じて、個別対応と集団活動を組み合わせ、計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			前日に活動内容の細かな打ち合わせを事業担当毎に行い、当日は全体で支援内容や役割分担の再確認を行っています。時間に余裕を持って出勤時間を設定し、打ち合わせをしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10			担当した職員間で支援の振り返りを行い、記録に残して次の活動に繋げています。毎回、終了後、その日の事を職員全体で話し、共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			活動全体の記録とお子さま一人一人の記録を行い、支援の検証・改善に繋げるよう努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			放課後等デイサービス計画の見直し時期に加え、お子さまの日頃の姿・家庭生活・集団生活での変化を見ながら必要に応じて行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9	1		子どもが意欲的に関われる遊びを通して、自己肯定感を育み、学校側との連携を図りながら支援しています。また、公園や散歩などで、自然に触れる機会を設けたり、長期休暇時には、公共交通を利用して出かけるなど経験を積み重ねる支援をしています。公共機関での関わりや地域のお店などに買い物に出かけ、地域の人たちと交流を図っています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	改善目標等
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			主には児童発達支援管理責任者・担当職員・管理者などが出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10			学校側の年間行事を提出していただき、保護者、学校側との情報を共有し、送迎時の対応やトラブル発生時の連絡等も、すぐ対応できるようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	4		医療的ケアが必要なお子さまがいる場合には、主治医や協力医療機関と調整会議にて十分な話し合いを行い、連絡体制を整えていきます。現時点で、医療的ケア児の受け入れはありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10			ご家族とご相談しながら取り組んでいます。就学前に、保護者側から、保育所・幼稚園・認定こども園などからのまとめた情報を共有して、就学時に必要な支援を保護者と話し合っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	1		中学に進級してからサービス事業所等へ移行できるよう、学校側との障害福祉情報とすり合わせ、他の障害福祉サービス事業所への情報提供をしています。また、保護者・子ども達にも情報提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1		お子さまやご家族とご相談しながら連携が有益なものとなるように努めています。また専門機関が開催する研修等には積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	1	普段の学校生活の中で、障害のないお子さまと活動を共にしています。	現在は地域活動への参加は計画しておりませんが、今後は社会参加の一環として様々な催しなどへの参加を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10			福祉的介入が必要なケースについては、市町村等が設置する要保護児童対策地域協議会等へ参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			お子さまの日頃の姿を発達状況や生活環境に照らして考え、課題について共有したいと考えています。日々の活動のなかで送迎時・電話・面談などを通してお話する機会を設けています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	10			活動の場面や面談などを通してお子さまとの関わりや声のかけ方について、一緒に考える機会を設けています。ご家族のご希望に応じて、コース(8~9回)での受講も可能です。	職員間でペアトレーニングのプログラム内容の共有を強化していきたいと考えています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	改善目標等
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			ご契約時に重要事項説明書及び利用契約書の読み合わせをしながら料金表とともに説明をしています。運営規定は常時閲覧できる場所に配置しています。気兼ねなく質問出来るような雰囲気作りを心掛けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			日頃の活動のなかで常時相談に応じています。時間を要する場合には面談を行います。支援計画の見直しや、お子さまや集団生活の状況が変化したときなど、あるいはご家族からご相談がありましたら迅速に対応することを心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	8	1	コロナ禍の前までは運動会などの親子参加の催しで交流する機会がありました。	今後コロナ対策が落ち着いてきたら、運動会・音楽会の催しで交流する機会を増やしていきます。父母会等の活動はありませんが、今後は皆さまからのご要望に応じて、交流や情報交換の場の設定も行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			<p>いただくご意見、ご要望は大切に受け止めて対応し、体制を考えます。年に一度、苦情解決会議を設けています。</p> <p>お子さまやご家族から苦情を受けた際は、重要事項説明書に記載された方法で迅速に対応させていただきます。現在は第三者委員会に繋がる案件はありません。</p> <p>【①事業所内苦情解決管理責任者②苦情解決連絡協議会(第三者委員)③行政機関苦情受付機関】</p>	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			今年度から毎月、『ハートシード通信』を出して、活動内容、連絡等行っています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	10			ご利用者個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。関係機関との連携などが利用者様の利益となる場合は、保護者様の同意を得た範囲で行います。不都合やご心配などは遠慮なくお申し出ください。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			内容によりお手紙配布や口頭、お電話等、ご家庭の状況に応じた方法で、確実にやりとりするよう心掛けています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	7	1		現在他の事業所などのお話を参考に地域に、開かれた事業運営のあり方を検討していきます。掲示等で活動内容の告知をしていき、地域と結び付けていくようにしていきます。ホームページ等で活動の情報を、今後、積極的に発信していくように検討します。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	改善目標等
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			契約時にご説明しています。また各マニュアル等、事務室カウンターに常備していますので、ご覧になりたい方はお声かけ下さい。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			年に1、2度、避難訓練を兼ねて避難場所となる録取コミュニティーセンター方面のルート歩き、避難場所を伝えています。	今後は災害時のお子さまの引き渡し方法など個別に確認してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			虐待防止委員を設置し、委員会を定期的に開催しています。毎年2名の職員が研修を受け、研修に参加していない職員に対し、伝達研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	5		個別支援で対応させていただく場合や、クールダウンなどのために一時的に距離を置くことが必要なお子さまについては、お子さまとご家族へ十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載します。	緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束への対応について代替性として、職員とガイドラインを再度確認していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	1		アレルギーの有無や詳細な確認を契約時に行っています。必要な際には、医師による指示書を提出してもらっています。職員間では、カルテにシールを貼るなど、事故防止に努め、対策を取っています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2		作成し共有し、対応策が徹底して実施されています。	小さな出来事でもヒヤリハットに載せ、その都度職員内で話し合い共有し、対策を取っていきます。	